

# 「砂の美術館」の新しい砂像展示も話題！

## 初夏の絶景が広がる

### 鳥取砂丘と浦富海岸へ

「山陰は遠い」というイメージを抱く人がいるかもしれませんが、鳥取市なら電車ですら約30分、車で約4時間30分と、早朝出発でなくてもランチに十分間に合う距離です。ぜひ、ゴールデンウィークや週末は、初夏の絶景が楽しめる鳥取県へ出掛けませんか！



写真1/風紋が美しい鳥取砂丘。同6/砂地をスイスイと走るファットバイク。同2・4/「砂の美術館」で展示中の「世界遺産マチュピチュ」(2)と「リオのカーニバル」(4)。同8/浦富海岸。同5/浦富の魅力が満喫できる遊覧船。夏季は小型船がお勧め！同7/「海と大地の自然館」の館内。同3/同館で人気のダイオウイカ標本

#### ファットバイクが新登場

国内屈指の絶景スポット・鳥取砂丘（天然記念物）は、JR鳥取駅から車で約15分。日本海を背にして広がる庄巻の美景が砂丘散策で存分に堪能できる他、ラクダ乗りや、パラグライダー、サンドボード、ヨガといったアクティビティも充実。さらに今春からは、極太タイヤで砂地を軽快に走る全地形対応型自転車「ファットバイク」もデビューしました（コースは限定）。驚きの乗り心地は「身長150cm以上の方なら誰でも簡単に体験できますよ」と、インストラクターの小椋宣洋さんはきっぱり。砂丘事務所の堀田利明所長は「そういった体験も楽しみながら、ぜひ大自然の美しさを奥深さ、癒やし効果などを肌で感じてほしいですね」と話してくれました。

#### 人気のダイオウイカ標本

鳥取砂丘や浦富海岸は、貴重な地質や美しい景観を持つ自然公園「山陰海岸ジオパーク」として、ユネスコに認定されている特別エリア。「海と大地の自然館」では、それらの多様な自然がどのようにして出来たのかを、日本列島の形成過程も踏まえながら、パネルや化石の展示、学習映像などで分かりやすく説明しています。他に、日本海の生き物を紹介するコーナーには、話題のダイオウイカの標本も！また、県内のジオパークエリアを歩いて巡るトレイルルート（JRの東浜駅と鳥取駅を結ぶ約40km）は「砂浜や砂丘、摩尼（まに）山など、変化に富んだコースが魅力的」と、全国のファンから支持されています。

今年南米をテーマに、コルコバードのキリスト像やマチュピチュ

遺跡、ナスカの地上絵、リオのカーニバルなど、緻密で迫力のある作品群が大きな話題を呼んでいます。鳥取砂丘を東に向かうと、やがて浦富海岸が見えてきます。ここは、波の浸食でできた奇岩や絶壁、洞窟などが多数点在するのに加えて、水深25mという海の透明度で日本百景、平成にっ



アクセス/電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間20分) 車…小牧IC→(名神高速道路→中国道)→佐用JCT→(鳥取自動車道(無料))→鳥取IC下車、鳥取市街へ(約340km)、国道9号線で浦富海岸方面へ(約360km)

「JA鳥取いなば」から「砂丘らっきょう(甘酢&ピリ辛)」2個セットを5人に希望者は〒、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、はがきかFAXで最終面上部宛先「砂丘らっきょう」係まで。5月4日(水・祝)必着。

問い合わせ/ふるさと鳥取県産業・観光センター  
 (中区栄4-1-1 中日ビル4階 電話052-262-5411)  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

#### 立ち寄りスポットならココ! 「道の駅 きなんせ岩美」

道の駅「きなんせ岩美」は、水揚げされたばかりの新鮮な魚介類や朝摘み野菜、肉、加工食品などが豊富にそろい、地元でも人気のスポット。岡田康男駅長は「名古屋の方にも、ぜひ鳥取のおいしい食材をたくさん召し上がってほしいですね。冷蔵便なら、翌日の午後にはご自宅に届きますよ」とPR。お値打ち価格も魅力です。併設のレストラン「海陽亭」では「特選海鮮丼」(1800円)をぜひ!



写真左上/「きなんせ岩美」の店内。同右/特選海鮮丼。同左下/「カレイの一夜干し」(4枚300円)を案内する岡田駅長

中日新聞社発行「ショッパー」(2016年4月28日号)